計画の機器 子変の中質 ~ 早度20年度 (中地) 交付 地形 交換 公面が 日本のようます主文化素を検索を有するまま・木類・母医といって交か・安全を分析を開きを使化してきる。		の名称		安心・多	そ全な歩行		こよる回遊	生向上と地域活性化												
### おからのもままま文章家報音を有する末金・本創予地区とおいて次心・交会を参行容別を復保とよる団家性向上と地域活性を伝図も、 #### 2 日本ののできます文章家の情報という。 2 日本の (1472) 上であった。 1473) 日本のできます。 2 日本の (1472) 上であった。 1473) 日本のできます。 2 日本の (1472) 上であった。 1473) 日本のできます。 2 日本のできます。 2 日本のできます。 1473) 日本				平成23年	E度 ~	平成27年度	(5年間)			交付対象		京都市								
・ 金条海の海行産業 2 0 9 0 人 (1427) に現か	計画の目標																			
・ 投票の助計分数 2 9 9 0 人 (1227) → 2 3 0 9 人 (1227) に関加 ・ 投票の助計分数 2 28 5 (1222) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統者の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統者の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1822)		魅力の	あるさま	きざまな集	長客施設を	を有する朱雀・ス	 上願寺地区	において安心・安全	な歩行空間	引を確保による[回遊性向上	こと地域活性化を[図る。							
・ 投票の助計分数 2 9 9 0 人 (1227) → 2 3 0 9 人 (1227) に関加 ・ 投票の助計分数 2 28 5 (1222) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統者の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統者の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1827) に対応 ・ 大統善の時代時間 2 4 8 (1822) → 3 0 % (1822)																				
・歩行権場のイメージ 2.8% (122) - 1.0% (127) に対か 1.2% (127) に対か 2.4% (122) - 2.4% (122) - 2.4% (122) - 2.9% (127) に対か 2.2%	計画	計画の成果目標(定量的指標)																		
- 未相合の確信時間 2 4.5% (1922) → 3.0% (1927) に関加 - 近畿的信仰の空産後に登記式 - 「日本の信仰の変を入れます。 2.5% (1922) → 4.0% (1927) に関加 - 近年の信仰の変を入れます。 2.5% (1922) → 4.0% (1927) に関加 - 近日の信仰の変を入れます。 (1943) (1925) (1923) (1																				
- 公無利用者の滞在中間 3 2 5 (1922) - 4 0 % (1927) に増加																				
10 七条連の通行音散を計測する。 (9時間)				329	% (H22) → 4	T	Halme . an	>= 11.77) m 1 m 1 l											
① 七条油の油行者数を計測する。(9時間)(1927年) (1927年) (1927年	正 重	的指標の	正義及()	・ 昇正式		_													備考	
① - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -																				
空機計画ではおける歩きにくいと感じる人の割合(アンケート調査) 23%	(1)	七条通の	通行者数	女を計測す	⁻ る。(9	9 時間)							(1120 = 1/3)	(112)	0)[4]	(112	17187			
② 高 高 高 下の 名 で で で で で で で で で		(七条通	における	3 断面で	計測した	こ合計通行者数)							2,090人	_	_	2, 50	00人			
② 高居等での滞在時間が30分以上である人の割合(アンケート調査) ② 公断利用者での滞在時間が1時間以上である人の割合(アンケート調査) ② 公断利用者での滞在時間が1時間以上である人の割合(アンケート調査) ③ 28百万円 A 28百万円 A 28百万円 A 28百万円 C 0百万円 (A (後来分+c) / (A+B+c) 8.5% ***********************************	(2)	歩行環境	における	か歩きにく	いと感じ	ごる人の割合 ()	アンケート	調査)												
② 図刷用者での滞在時間が1時間以上である人の割合(アンケート調査) 全体事業費 合計 (A+B+C) 328百万円 A 208万円 (益令事金) B 100百万円 C 0百万円 (健家分) + C) / (A+B+C) 8.5% 本作において評価を実施 (中間評価)の実施体制 実施時間 中間評価の実施時間 平成26年度 平成27年度 208 日報 交付 直接 事業者 要素となる事業名 (事業向所) (経長・前様等) 中間特価・クロ 日本													28%	-	_	10	0%			
② 公園和用者での滞在時間が1時間以上である人の割合(アンケート調査) 33% 35% 40% 全体事業費 合計 (A+B+C) 328百万円 A 3005万円(248年至 305万円(248年至 305万円(248年至 305万円(248年至 305万円 B 100百万円 C 0百万円 (A (第条分) + C) / (A+B+C) 8.5% ○事後経価(中間評価の実施体制 中開評価の実施体制 本市において評価を実施 本市ホームページにで経を実施 ・ 大田において評価を実施 ・ 大田において評価を実施 本市ホームページにで公表 1. 交付対象事業 機別 権別 対象 開接 ・ 実業 地域 交付 直接 機別 権別 対象 開接 ・ 実業者 (年業個所) (延長・面補等) 地域生活基整施液(24-220m) 京都市 (延長・面補等) 株式・地域 25 旧26 旧27 (228) 1. 本工・本面市日生 一般 京都市 直接 ・ 京都市 直接 ・ 京都市 直接 ・ 京都市 直接 ・ 本来 実施期間 (年度) ・ 全 228 B 関連社会資本整備事業 ・ 事業内容 (延長・面補等) 推測 対象 開接 ・ 本業 大部間 (年度) ・ 本書 大部間 (日度)	3	商店等で	の滞在時	特間が3 C	分以上で	である人の割合	(アンケー	ト調査)												
全体事業費				D. C L. FIFE S									24%	-		30	0%			
全体事業費 (A+B+C) 328百万円 A 200万万円 (集件事) 328百万円 C 0百万円 (A(機条分)+C) / (A+B+C) 8.5% ***********************************	(4)	公園利用	者での清	存在時間が	³¹ 時間以	上である人の割	合(アンケ	ート調査)					32%	31	5%	41	0%			
全体事業費				\triangle	. ⊒ .		1	200万万田 (其於東紫)								1	0 / 0			
平 後 部 値 (中 間 部 値) 平 間評価の実施時期 中間評価の実施時期 平 間評価の実施時期 平 間	<u> </u>	全体事業費				328百万円	A		В	100百万円	С	0百万円						8.5%		
中間評価の実施体制 中間評価の実施体制 中間評価の実施体制 中間評価の実施時期 平成26年度 平成27年度 公表の方法 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本東楽 進載状況 本東楽 地域 タタ 間接 事業者				(11 1	D 1 C)			20日月日(延呆孝未)					(A (证条刀) 干U) / (A	твтс)					
中間評価の実施体制 中間評価の実施体制 中間評価の実施体制 中間評価の実施時期 平成26年度 平成27年度 公表の方法 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本東楽 進載状況 本東楽 地域 タタ 間接 事業者									市 纵	₹# /# / H	BB ≑π	/π'\								
中間評価の実施体制	○ 古 // 訂	/ / 1	≓∓ /π'\ σ		. 	t- 44n			争俊	計 価 (中	间 評	1曲)								
平成26年度~平成27年度 公表の方法 本市ホームページにて公表 1. 交付対象事業の進捗状況 交付対象事業 A1 道路事業 番号 事業 地域 交付 直接 京都市 都市再生整備計画事業 (朱金・本願寺地区) 地域生活基盤施設他A-223ha 京都市				美胞体制	」、美施思	手期					J. 88 37 /m	. o. ch.Hent Hn		T						
本市において評価を実施 公表の方法 大学付対象事業 日 200 本市において評価を実施 本 2 (大学教事業) 本 2 (本学業費) 中業 地域 交付 直接 事業者 (事業協所) (年度) 全体等業務 (経長・面積等) 市町村名 (経長・面積等) 中町村名 (日本) 中間 228 1 -A-1 都市再生 一般 京都市 直接 京都市 都市再生整備計画事業 (朱雀・本願寺地区) 地域生活基整施設他A-223ha 京都市 日本 228 日本 125 旧26 旧27 (日本) 日 228 5 関連社会資本整備事業 事業 地域 文付 直接 事業 地域 対象 間接 事業 「工権 要素となる事業名 (延長・面積等) は優・地区名 法湾・地区名 法湾・地区名 日本 125 旧26 旧27 (日本) 上 228 旧24 旧25 旧26 旧27 (日本) 上 228 旧24 旧25 旧26 旧27 (日本) 1 -B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 直接 京都市 直接 京都市 直接 京都市 直接 京都市 直接 京都市 日本 1250m 京都市 100 第装修繕 L=550m 京都市 京都市 100 東都市 直接 京都市 100 日 100	中間評価	の実施体	制										-							
本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 本市ホームページにて公表 文付対象事業 本業 地域 交付 直接 事業者 要素となる事業名 事業内容 市町村名 日記 日記 日記 日記 日記 日記 日記 日											1 77 7	1 2 4 1 77 - 1 2	更	1						
20世球状況 交付教事業 A1 道路事業 A1 道路事業 事業者 要素者 要素者 (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (正成・面積等) (国力円) (国力円	本市において評価を実施											•								
交付対象事業 A1 道路事業 地域 交付 超別 報別 対象 間接 事業者											本市ホ	ームページにてな	公表							
交付対象事業 A1 道路事業 地域 交付 超別 報別 対象 間接 事業者																				
Al 道路事業 地域 交付 直接 事業者 要素 地域 交付 直接 事業者 要素となる事業名 事業内容 (延長・面積等) (延長・面積等) (正長・面積等) (工権 上の 上の 上の 上の 上の 上の 上の 上																				
番号 事業 植別 対象 間接 種別 対象 間接 種別 対象 間接 簡別 対象 間接 間接 事業者 要素となる事業名 (事業箇所) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (延長・面積等) (重力円) (電力円) (電力円					ı															
種別 種別 対象 間接 事業者 (事業箇所) (延長・面積等) (近長・面積等) 日 日 日 日 日 日 日 日 日		pr 4 //14	4th 1 ut:	六仕	古拉			西丰	しかる東娄	- A		東		I	市光中	+1/2: +1/1: 11 /	(左座)			供求
1-A-1 都市再生 一般 京都市 直接 京都市 都市再生整備計画事業 (朱雀・本願寺地区) 地域生活基盤施設他A=223ha 京都市 123 1123	番万					事業	者			* 1			市町村名	1100				1107		1佣-与
A	1 1 1						±:). + 晒 + 4 0 7)				H23	H24	HZ5	H26	HZ I		
B 関連社会資本整備事業 事業 地域 交付 直接 種別 種別 対象 間接 事業者 工種 要素となる事業名 (延長・面積等) 港湾・地区名 H23 H24 H25 H26 H27 (百万円) 1-B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 京都市 工条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市 「京都市 100	1-A-1	御川丹生	一加又	水	旦佞		1 1	和山井工金畑町画	ず未 (不隹	: 个限寸地区/	地坝生店	転쓾旭取世A=223ha							228	
B 関連社会資本整備事業 事業 地域 交付 直接 種別 種別 対象 間接 事業者 工種 要素となる事業名 (延長・面積等) 港湾・地区名 H23 H24 H25 H26 H27 (百万円) 1-B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 京都市 工条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市 「京都市 100	-	-																		
B 関連社会資本整備事業 事業 地域 交付 直接 種別 種別 対象 間接 事業者 工種 要素となる事業名 (延長・面積等) 港湾・地区名 H23 H24 H25 H26 H27 (百万円) 1-B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 京都市 工条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市 「京都市 100		1			-			+					1							
B 関連社会資本整備事業 事業 地域 交付 直接 種別 種別 対象 間接 事業者 工種 要素となる事業名 (延長・面積等) 港湾・地区名 H23 H24 H25 H26 H27 (百万円) 1-B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 京都市 工条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市 「京都市 100		1			-			+					1							
B 関連社会資本整備事業 事業 地域 交付 直接 種別 種別 対象 間接 事業者 工種 要素となる事業名 (延長・面積等) 港湾・地区名 H23 H24 H25 H26 H27 (百万円) 1-B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 京都市 工条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市 「京都市 100	-	1			l			1]	A 31]	l	202	
番号 事業 種別 地域 交付 種別 対象 間接 間接 目接	D 間,中	九人次十	邮 /# 吉 "	4	ſ											台計			228	
番号 種別 種別 対象 間接 事業者 工種 要素をなる事業名 (延長・面積等) 港湾・地区名 H23 H24 H25 H26 H27 (百万円) 1-B-1 道路 一般 京都市 七条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市 100					古埣	Т	省畝	1				車業内容	古町村夕	l	車柴生	協制則 /	在底)		△仕★※曲	借老
1-B-1 道路 一般 京都市 直接 京都市 七条通 道路修繕事業 舗装修繕 L=550m 京都市	番号				間接	事業者		要素。	となる事業	名				H23			1 2 47	H27		カーション
	1-B-1					京都		七条通 道路修繕	事業					1120		1120	1120		100	
수타 100			,																	
合計 100																				
									•							合計			100	

番号	番号 一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果	ン Manutainan																
番号	事業	地域	交付	直接間接	事業者	省略	要素となる事	業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	****	事業実施期間 (年度)			****	全体事業費 (百万円)	備考
	種別	種別	対象			工種					H23	H24	H25	H26	H27	(11/3/11)	
														-			
														-			
													合計				0
亚口	(4444)	<i></i>		. to #117+ S	1- 7 1 11	1							ЦНІ			I .	/ 土土
番号	一体的に	- 実施する) <u> </u>	にり期待さ	れる効果	<u> </u>											備考
※☆付分	・免事業に	ついてに	トでキス	、だけ個別	敗絶デレ	に記載すること。											
	効果の発					10 max / 5 c c s											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						・多くの観光資源や特徴的な施設を有し、潜在的に魅力を持つ「朱雀・本願寺地区」において、各施設へ誘導する案内や歩行者経路の整備により安心・安全な 歩行空間を確保し、回遊性向上と地域活性化を図りながら、定量的指標の中間実績として目標値を達成することができた。											
Ⅱ 定量的指標の達成状況			指標④ 用者での	滞在時	中間目標値	35% 目標値と実績値											
			间か1時 ある人の	間以上で)割合	中間実績値	63. 75%	に差が出た要因	口,一天凶									
	Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

3. 特記事項(今後の方針等)

・引き続き,京都市内全域において,安心・安全な歩行空間を確保することによる回遊性向上と地域活性化を推進していく。